

# 学校給食問題意見交換会報告

三次市市議会議員 竹原孝剛

とき 5月25日 15時

ところ三次市役所6階会議室

参加者 栄養士11名議員11名

## 1、学校給食の現状について

- ・地産地消の現状については、地元理解されて作物の提供があり、こどもたちにも地域で作られた野菜である事を紹介し、新鮮・安心食材であることアピールしている。
- ・アレルギー対応は基本的には、代替え食対応している。
- ・残菜率についてはほとんど完食に近く5%いないである
- ・食育については学期ごとに実施し、栄養バランス、季節感・食事の取り方などに取り組んでいる。

## 2 学校給食センター化の課題について

- ・センター化の情報がでない
- ・センター化すれば栄養士減になって食育ができなくなる。
- ・アレルギー食対応が難しい。
- ・配送時間が長くなり、温度管理はできなくなり、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べるのは困難となる。
- ・給食を作るときの匂いや・地域の食文化・行事などの細やかな取り組みができなくなる。
- ・センター化すれば事故対応が難しいし、全体的な影響を受ける。
- ・センター化になると一部しか災害対応ができなくなる。
- ・センター化すれば各地域で野菜など生産されている生産者からの受け入れができなくなる。

3、課題は多くあり保護者や地域から意見を充分聞く必要がある。拙速に実施すべきではない。